

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



世界遺産を舞台にした熱戦

プリンセス駅伝in宗像・福津



▲新原・奴山古墳群の前を駆け抜ける選手たち

福津・宗像両市で10月22日、女子駅伝の日本一を決める「クイーンズ駅伝」の予選会「プリンセス駅伝in宗像・福津」が開催されました。台風21号が接近し、強風の吹く中でしたが、発着点の宗像ユリックスからカメリアステージ、宮地嶽神社周辺など、市内をめぐる全6区間42・195kmのコースを、全国から参加した29チームが駆け抜けました。沿道では、市民や各チームの応援団が熱い声援を送ったほか、交通整理などで多くのボランティアの協力がありました。新原・奴山古墳群の前では、観光ボランティアの人たちが、おそろいの古代衣装を着て「少しでも世界遺産のアピールに繋がれば」と応援していました。また、市内の3か所では、地元の郷土料理も振る舞われました。上位14チームは、11月26日に開催予定のクイーンズ駅伝への出場を決めました。

これからも交流を深めましょう

韓国・慶州市との民間交流



▲古墳群の展望所で記念撮影



▲市文化財課職員の説明に熱心に耳を傾けていました

福津市と韓国の慶州市の市民でつくる日韓慶福交流会の慶州市の会員13人が11月10日に訪れ、福津市の会員や関係者たちが出迎えました。交流会は平成11年に設立され、会員数は現在85人。年2回の相互訪問などを続け、互いの歴史や文化を学んでいます。新原・奴山古墳群を見学した慶州市の朴大善会長は「慶州市にも古墳がありますが内陸にあるので、海の近くにある古墳というのは新鮮に感じます」と語りました。また、朝鮮通信使がユネスコの世界記憶遺産に登録されたことを受け、津屋崎海岸にある朝鮮通信使の石碑の案内板も訪れました。これは朝鮮通信使400周年を記念して福津市の会員たちが設置したものです。両市民は世界記憶遺産の登録を喜ぶとともに、今後も交流を深めることを確かめ合いました。

地域が一丸となって

第12回マル勝まつりが開催



▲児童たちによる伝統芸能、人形浄瑠璃のステージ

勝浦小学校で10月29日にマル勝まつりが行われました。地域の良さを広め、活性化しようとの思いから、郷づくりと小学校が力を合わせ、毎年開催しています。多くの人でにぎわう中、児童の学習発表や地域の人によるバザーなどが催されました。フィナーレでは、風船に花の種とメッセージを添えて大空に飛ばしました。毎回、全国各地から「届いたよ」という声が寄せられています。今年はどうでしょうか。

長年の教育行政への功績が称えられ

金子孝信・前教育長に地方教育行政功労者表彰



▲2期8年間、市教育長を務められました

地方教育行政の発展と充実に貢献した地方教育行政功労者として、金子孝信さんが文部科学大臣から表彰されました。金子さんは「推進してきたコミュニティ・スクールの取り組みが、子どもたちの豊かな学びだけでなく、魅力ある地域づくり、まちづくりにもつながってほしい」と、教育行政への思いを語りました。

今年も甘いみかんができました

みかん狩り交流会



▲お父さんとみかん狩りを楽しむ神田稀羽ちゃん

みかん狩り交流会が11月3日、内殿のみかん畑で行われました。消費者と生産者の交流を目的に、福岡町ときから行われているイベントで、今年で18回目です。園内のみかん食べ放題ということもあり、約1300人が楽しみました。家族で参加した神田純一さん（日蔭野2区）は「昨年は自分だけ参加できなかつたけど、今年は家族みんな楽しんでいます」と語ってくれました。

24時間利用できます

福津市と宗像市のコンビニにAEDを設置



▲市内に22の設置店があり、標章が貼られています

宗像地区消防本部が、福津・宗像のコンビニとAED設置の協定を結びました。これまでAEDのある施設の多くは休館日や夜間には使用できませんでしたが、今後は24時間、誰でも使用できます。また、消防本部 ☎36・2455)では、AEDを自治会などの団体が行うさまざまなイベントにも貸し出しています。